



平成 22 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名： 株式会社ベネッセホールディングス  
代表者名： 代表取締役社長 福 島 保  
(コード番号：9783 東証・大証第一部)  
問合せ先： 広報・IR部長 増 本 勝 彦  
(TEL：042-356-0808)

株式会社アップとの資本・業務提携の内容の一部変更に関するお知らせ

当社は、株式会社アップ（東証二部上場、証券コード9630、以下「アップ」）との間で本年5月21日に発表した新たな資本・業務提携（以下「資本・業務提携」）に関し、アップと協議の上でその内容の一部を変更することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更内容

当社とアップは平成14年8月に資本・業務提携を開始しておりますが、本年5月21日に、学習塾事業、特に首都圏戦略の強化及び教育事業全体の両社での発展を目的として、両社の関係をより強固なものとするために新たな資本・業務提携に関する契約を締結いたしました。その主な内容は以下のとおりです。

- ① 当社が平成23年3月31日までに、アップの株式を市場若しくは既存株主からの取得又は自己株式の買受けにより、持株比率15%を目途に取得し、アップを当社の持分法適用会社とすること。
- ② 当社は平成22年5月31日に、当社の100%子会社である株式会社お茶の水ゼミナール（以下「お茶の水ゼミナール」）の株式の50%をアップに譲渡し、アップの持つ難関国公立大の現役合格実績のノウハウ、コンテンツをお茶の水ゼミナールの運営に活用し、首都圏を中心とした学習塾戦略を進めること。また、当面はお茶の水ゼミナールを当社の連結子会社として維持するが、平成23年3月31日までにアップの連結子会社とすること。
- ③ 当社およびアップは、業務提携により、学習塾事業について、両社の持てる経営資源を最大限効率的に活用し、事業成長をしていくこと。

このうち、上記②のお茶の水ゼミナールのアップ連結子会社化の時期に関し、アップとの提携協議の中で、お茶の水ゼミナールの資本構成、経営体制に関しては、当面、現

状のまま維持するのが望ましいとの意見で合意に至りました。これにより、今期はお茶の水ゼミナールは当社の連結子会社のまま維持されます。

また、その他の資本・業務提携契約の内容については、一切変更はございません。

## 2. 変更理由

お茶の水ゼミナールは、当社が平成 18 年 10 月に 100%子会社化して以降、順調に経営再建を果たしており、今期の生徒獲得数及び売上高も順調に推移しています。

両社で協議した結果、現経営体制での更なる業績向上、足場固めを行うのが妥当との判断に至り、当初の予定を変更したものです。

## 3. 業績への影響

本件に伴う当期の連結業績への影響は軽微であり、業績予想の修正はありません。

以 上